

もしものときのために

地震などの天災を未然に防ぐことはできませんが、日頃からさまざまな準備をすることで、被害を抑えることができます。特に冬の災害では、雪や寒さへの対策が重要です。もう一度、家の中や外でできることを確認しておきましょう。

家の中での備え

非常持ち出し品の準備



リュックなどに必要な物を入れて、いつでも持ち出せるようにしましょう。ジャンパーやカイロなどの防寒具も忘れずに。

停電時の対策



停電時の一時的な防寒対策として、移動式ストーブ（灯油やカセットガスなどを使用するもの）などを用意しましょう。

家族みんなで防災会議



非常時の役割分担や、家族がバラバラに避難した場合の連絡方法や集合場所もあらかじめ決めておきましょう。

家の外での備え

屋根の雪下ろし



地震の揺れと雪の重みで家が倒壊する恐れがあります。また、落雪により避難経路がふさがれることも。こまめに雪を下ろしましょう。

自宅前や歩道を除雪



災害時は、窓も避難口になります。避難路の確保のために、自宅の玄関前や窓の下、歩道の除雪を行いましょう。

近くの消火栓付近を除雪



消火栓の除雪は消防署員などが行っていますが、大雪の際は作業が遅れることもあるので、地域で協力して除雪しましょう。

屋根の雪下ろしは注意して

毎年、屋根の雪下ろし中の転落事故などが発生しています。雪下ろしの際には、細心の注意を！

- ①複数で行う
- ②靴やはしごに滑り止めをつける
- ③命綱をつける
- ④周囲を確認
- ⑤低い屋根でも油断しない
- ⑥建物の周りに雪を残してから雪下ろしをする
- ⑦屋根の雪が緩むため天気の良い日ほど要注意

広告

